

(5)三條市立西鱈田小学校の取組

佐藤 紹夫 (三條市立西鱈田小学校 教頭)

- 1.新潟県ではさきほども申しましたように、防災教育プログラムを中心に実施しています。三條市はその洪水編ということでモデル地区になっています。その防災教育プログラムに保護者をどのように巻き込んでいくかを考え、「保護者参観」というかたちで実践してみました。
- 2.本校は今年度三條市指定防災教育研修会において、洪水災害編のモデル実践校となりました。今年度のテーマは「保護者と一緒に子どもが学ぶ」ことでした。研修会の全体像を決める際、せっかくだから保護者参観と抱き合わせてみようと考えました。これは研修会の授業者を誰にするかを協議する必要がありません。全職員一緒に取り組めるということで設定しました。
- 3.実施にあたり、課題が2つ考えられました。1つは「保護者に呼びかけ関心を高めること」、もう1つは、「保護者の水害の実体験を学習に生かすこと」です。保護者への呼びかけについては、4月のPTA総会を最初に役員会・たよりで内容ねらいを何度も何度も呼びかけました。当日は、7割の参観率でしたが、普通の参観日と同じくらいの参加人数でした。子どもに保護者の水害体験を事前に共有しておいてもらおうと思い、防災かべ新聞のコンクールを企画し、児童に家庭で取材させるということに取り組みました。
- 4.実際の防災教育プログラムの洪水編の内容です。全学級が公開するというので、どの職員も力を入れました。
- 5.1年生の授業の様子です。「大雨が降ったときの危険性を知る」というねらいで、大雨の様子をビデオで見たりしました。反応が素直で雨音に耳をふさいでいる様子が見られます。
- 6.2年生の授業の様子です。「大雨が降った時の身を守る行動を知る」というねらいで、平成16年の新潟・福島豪雨の三條市の被害の様子を写真で確認し、どうすれば身を守れるか考えていきました。
- 7.3年生の授業の様子です。「雨の降り方や洪水について知る」というねらいで、保内小学校の実践を自校化した実践を行いました。このクラスは授業に備え、7月に豪雨で臨時休校になった際の絵や感想を書かせていました。実体験を生かした授業となりました。このように使えると思った



実践4 保護者授業参観とタイアップする実践

西鱈田小学校の取組

三條市立西鱈田小学校

- ・三條市中心部を流れる五十嵐川の南側に位置する
- ・全校児童281名 (家庭数181)
- ・全10学級(特支2学)
- ・平成16年7月新潟・福島豪雨では一部家庭で床上浸水

平成26年度

三條市指定防災教育研修会モデル実践校
【洪水災害編】

テーマ

保護者と子どもと一緒に学ぶこと

保護者参観日に
公開授業を設定

課題

- ・保護者に呼び掛け関心を高めること
- ・保護者の水害の実体験を学習に生かすこと

保護者が集まる機会・たより等での呼び掛け

- ・PTA総会・役員会等・学年たより等で期日、内容ねらいを何度も働き掛ける

H16. 7. 13 H23. 7. 29水害の実験の共有

- ・防災壁新聞コンクール応募をきっかけに、児童が保護者への取材活動を行う

保護者参観の実際

1年生	学習のねらい ~大雨が降った時の危険性を知る~ ○大雨が降った時の状況を考える。 ○大雨が降った時の身を守るための行動を知る。
2年生	学習のねらい ~大雨が降った時の身を守る行動を知る~ ○大雨で洪水が発生した時の危険性を知る。 ○大雨が降った時の避難方法について理解を深める。
3年生	学習のねらい ~雨の降り方や洪水について知る~ ○雨が多く降る季節と洪水が起きる理由を知る。 ○大雨の時、洪水の他に起こる現象を知る。
4年生	学習のねらい ~洪水から街を守る対策について知る~ ○洪水から街を守るための対策(堤防やダム等)を知る。 ○洪水ハザードマップを用いて避難先を調べる。
5年生	学習のねらい ~洪水に対する日頃の備えを知る~ ○洪水ハザードマップの意味と使い方を調べる。 ○日頃から備えておくべきことを考える。
6年生	学習のねらい ~川からの恵みと災いについて考える~ ○新潟県内の過去の洪水災害を知る。 ○川の恵みについて考え、自然と共存することを学ぶ。

時点で準備をしていくことも大事なことになります。

8. 4年生の授業の様子です。「洪水から街を守る対策について知る」というねらいで、保護者とともに活動する時間を設けました。逃げどきマップ（三条市豪雨災害対応ガイドブック）を親子で確認するという活動です。兄弟がいる保護者は他の学級も見てまわるため、事前に活動内容と時間を学年だよりで知らせておくという配慮をしました。
9. 5年生の授業の様子です。「洪水に対する日頃からの備えを知る」というねらいで、逃げどきマップの使い方、持ち出し袋を使つての学習をしました。三条市から各家庭に配布されている豪雨災害対応ガイドブックを使おうと担任も意気込み、各家庭から持って来させたのですが、半数程度しか集まりませんでした。あとは見当たらないということで、この辺に家庭の実態が見てとれます。
10. 6年生の授業の様子です。「川からの恵みと災いについて考える」というねらいで、小学校のまとめをしました。防災教育プログラム開始2年目のため、高学年には積み重ねがありません。2時間扱いの単元を組み、前期に5年生までの学習内容を学んでおくということが必要でした。
11. 特別支援学級の授業の様子です。担任と相談し、インターネット上にある防災カルタを利用し、親子一緒に楽しみました。
12. 保護者参観の最後に研修会参加者、それから保護者対象の講演会を行いました。講師は片田先生です。講演会の保護者参加は授業参観の3分の1程度に減ってしまいましたが、実は普段のPTA講演会の2倍の参加率でした。実際に聞いたかったのに、用事があって聞けないという方も多くいました。参加した方からは大変良かったという声を多数いただいております。
13. 保護者参観後の保護者の声です。学ぶ機会をもらったという好意的な声が多かったです。保護者は自分達が実際に水害を体験しています。市は水害対策をたてていますが、それが実際家庭には伝わっていない。こうやって保護者参観で防災教育を行うことで、市の対策も含めて保護者が学ぶ機会となったのです。
14. こうして防災教育を保護者参観で行ったわけですが、いくつかが良かったことがありました。1つ目は「家庭との共通認識ができる」ということです。自分の命は自分で守るということを教えていることを保護者と共有できるわけ



です。2つ目は、「防災教育について全校体制が確立される」ということです。職員は保護者参観ということで、否応なしにやらなければなりません。自然と全校体制ができます。3つ目は「教材研究が充実し、自校化が進む」ということです。今回は職員研修会でもあり、保護者参観でもありました。人に見せるという意識があるため、一人ひとりの教材研究が充実していました。教材についてお互いに相談し合う姿も見られました。この1回の取組により西鯉田小学校では全学年分の水害について自校化が進んだわけです。

15. 今後の課題です。1つ目は、「防災教育の授業参観を毎年継続できるか」ということです。今年は研修会と抱き合わせたため実施できました。やってみて良いという点があることはわかったのですが、毎年保護者参観として実施できるかという学校の運営上難しいかもしれません。2つ目は、「家庭で授業をどう話題にしてもらおうか」ということです。全学級・全担任が授業してみると親子で学んだことを家庭で深めてほしいわけです。今回は授業参観をするということを中心に取組みそれが精一杯だったために、家でのことまで考えていませんでした。家に帰ってどうしていくかという学校の働きかけも必要だということを感じました。3つ目は、「自校化した記録をどう保存し、積み重ねるか」ということです。これは保護者参観だからということではありませんが、毎年職員は入れ替わっていきます。しかし、地域はそこにあり続けるわけです。職員が変わっても継続してその積み重ねが行われていくシステムが必要となります。

16. 三条市からの報告の全体のまとめです。三条市では水害のあと、災害に強いまちづくりを目指して取り組んでいます。今回、4つの事例を発表しましたがいずれもまちづくりにつながる教育であり、地域を愛する心を育てる教育です。このことを心に刻みながら実践を進めていきたいと考えております。

6年生 川からの恵みと災いについて考える



川の恵みについて考える
(姿勢の防災教育)

防災教育プログラム開始2年目のため、6年生には積み重ねがない、2時間抜きの単元を組み、前時に5年生までの学習内容を学ぶ。

保護者の声

- ・水害について一緒に学ばせてもらよかった。
- ・子どもがどんなことを学んでいるのかを知るよい機会となった。
- ・子どもと避難場所を確かめる機会をもてよかった。
- ・自分で考えて行動できる子どもを育てるのはよいことだと思った。



防災について保護者も学ぶ機会となる

防災教育を保護者参観で行うよさ

家庭との共通認識ができる

→自分の命は自分で守るという共通の姿勢

防災教育について全校体制が確立される

→やらなければいけないという意識

教材研究が充実し、自校化が進む

→人に見せるという意識がよい授業をつくる

13

今後の課題

防災教育での授業参観が継続できるか

→学校の年間予定でどう調整するか

家庭で授業をどう話題にしてもらおうか

→今回は保護者に委ねている

自校化した記録をどう保存し積み重ねるか

→職員が替わっても指導を継続する

14

三条市の防災教育

平成16年新潟・福島豪雨(7.13水害)



災害に強いまちづくりを目指す



防災教育

**まちづくりにつながる教育
地域を愛する心を育てる教育**

提供